

- 保健所がほとんど機能せず、個々の医療機関の努力に頼っていた地域が多かった。
- 医療機関が中心となると、他機関とはコンペティションの関係であるのでうまくいかない。医療機関間の連携のためには、その中心的な役割になるのは保健所であるべきである。
- 自治体・保健所をリーダーとした連携体制の構築と権限の委譲が必要である。
- 保健所、医療機関、市町村保健センター等、関係者で平常時の訓練・シミュレーションを実施しておくことが必要。
- 沖縄県では医師会、看護協会、保健所、沖縄県と地域連携がうまく行ってパンデミックに対応できた。

<2> 地域に応じた医療体制の構築について

- 地域に即し、地域で完結できる医療体制の確立が必要である。
- 普段から感染症対応が総合的に実施できる医療機関を地域に必要な数整備しておくべき。
- 仙台市では、国は国、地方は地方で対策をすると、市長・副市長の指示の下、医師会等と協議し、医療体制を整えた。その際には、国にはきちんとその体制について説明をするようにと市長は言っていた。
- 地域が状況に応じて対策を行うべきと国が明確に指示を出す必要がある。むしろ地方にも意識の向上が必要であるし、それを促進する対策が必要である。
- 地域での対応は、その資源に差があるので、大まかな対応は国が決めるしかないのではないか。
- 地域が主体となって、地域の実情に応じて、対策を決めるというのなら、財源の確保もお願いしたい。
- 地域で自由にやっていいということであるが、国の指示がないと保健所、市はやりたくないの、言われないとやらない。
- 感染症対策は地域にどれだけ権限移譲をし、対応できるかデジジョンメイキングしてほしい。
- 現場の自主性がなく、国の通知がないと何もつukれないということもあったが、現場にまかせきりだと現場に丸投げという解釈もある。十分に事前に意見交換をし、コンセンサスが必要である。
- 健康危機管理の観点から現場の情報をできるだけ厚生労働省へ伝えること、保健所と厚生労働省との連携が重要である。
- 医療機関にとって必要かつ正確な情報をリアルタイムに医療機関に提供するシステムが必要である。
- 沖縄県では地域のサーベイランスによって、各医療機関がリアルタイムに流行状況を把握、共有することができた。

<2> 補償・経費等について

- 医療者への災害補償の適応が必要である。

- 医療従事者への補償制度が必要である。
- 新型インフルエンザ患者受入に伴う、膨大な財政的負担（発熱外来設置費用、感染防御具費用、病棟閉鎖による減収等）が神戸市立医療センターでは問題であった。
- 医療従事者が感染患者の診療により二次感染した場合の恒久的な国家補償制度の確立をのぞむ。
- 医療従事者の災害補償の適用は必須。特に、開業医は代わりがないので倒れたら診療所自体もたない。
- 補償を含めて全ての医療従事者の協力が得られるような制度の創設が必要である。
- 公立病院でも、民間と同じ程度の謝礼金を支払うような補償制度が必要ではないか。
- 同じ沖縄だが、那覇市立病院は独立行政法人ということで、医師会からの応援に対する謝金を独自に支払うことができた。一方、県立病院は、謝金が極めて少額なため、医師会との連携が十分にできなかった。
- 新型インフルエンザ患者受入に伴い必要となる経費等に対する財政支援が必要ではないか。
- PPEは現物支給ではなく、診療報酬として認めてもらいたい。
- 坑インフルエンザ薬の国による十分な供給、各地域での発熱外来に協力できる医療機関の確保、および協力医療機関に対する積極的な財政的支援が必要である。

◆ その他

- 病原体の感染力・病原性に応じた対策のシナリオを複数準備しておく必要があるのではないか。
- 病原体の病原性や感染力等の強さによる分類ではなく、患者の臨床像や重症度で分類して、対応するのが重要ではないか。
- 危機管理上の観点からも、タミフルの備蓄だけでなく新薬の安全性や備蓄性を考慮し、多様の薬剤を備蓄しておくべき。また、流通在庫による備蓄など効率的な備蓄方法を構築すべき。
- 健康危機管理に対応した医薬品や検査薬の流通を検討する必要がある。

【ワクチン】

◆ ワクチンの確保について

- 新型インフルエンザワクチンの輸入により、組織培養ワクチンの研究開発が遅れたことは残念。
- 経鼻不活化ワクチンなど、安全性・有効性が高いと考えられるものを早期に開発すべき。
- シードは海外からの入手であり、国内でのシード開発が望まれる。
- 製造体制を拡充すべきである。
- September 11 の際、各国が痘瘡ワクチンを購入しようとしたができなかった。国家の安全保障という観点からワクチン製造業者を支援すべき。

- 集団接種の実施には、接種に必要なワクチン数を確保する必要がある。
- 当局と製造業者との一層の連携として、諸々の決め事に対してパターン、対応策をあらかじめ作成することが望まれる。
- 政府とメーカーの長期的なパートナーシップの確立が必要である。
- 事前購入契約による供給体制の早期の確保が必要である。
- 輸入ワクチンの遅れについて、検証すべきではないか。
- 輸入ワクチンについて、政治的な介入があったことや、開かれた議論がなされてこなかった。誰が、いつ、どのような考えの下に確保量やワクチンのタイプを決めたのか最後まで分からなかった。

◆ ワクチンの接種回数について

- 国に対し、1回接種にして、希望するできるだけ多くの人に接種を図ることを提案したが、明確な回答はなかった。
- 開かれた議論がなされてこなかったため、誰が、いつ、どのような考えの下に接種回数を決めたのか最後まで分からなかった。

◆ 10mlバイアルについて

- 10mlバイアルが当初主体であったことなど、国が責任を持っていれば混乱にはならなかった可能性が高い。10mlバイアルを供給することに何とも思っていないのではないか。
- 利便性が悪いという意見があるが、多く早くという思いでマルチドーズバイアルを供給しており、バイアル大容量の必要性を明確にすることが望まれる。
- 50回投与分の包装単位は個院では使用しづらく、接種率の低さと重なり、接種が進まなかった。
- 海外では集団接種が実施され、早期に全自国民を予防するため10回接種分バイアル、かつ大包装（500回投与分）が標準である。

◆ ワクチンの接種順位について

- 地域の実情を理解し、住民との関わりをもっている市町村の役割が不明確である。都道府県や市町村が判断して接種順位が決定できる権限がなかった。
- 接種スケジュールの変更など、国が責任を持っていれば混乱にはならなかった可能性が高い。接種スケジュールを変更することに何とも思っていないのではないか。
- 「新型インフルエンザ」はウイルスの特性により標的となる対象が異なる（今回は小児・アレルギー疾患）。ハイリスク群の決定には状況を把握したうえで柔軟な対応が必要である。
- 昨年以前にパブコメがされていたが、今回の優先順位の決定に活かされていたのか、活かされていれば、時間的に余裕を持った決定ができたのではないか。また今後新たな「新型インフルエンザ」にたいしては、高・中・低病原性や標的となる年齢層・

基礎疾患など種々の状況を想定した優先順位設定を考慮すべき。

- 全国共通か地方自治体が設定するかは議論があるが、都道府県では明確に決められないので、全国共通とした方がよい。全国共通ができないのであれば、国による十分なPRが必要である。
- ワクチン製造業者へのワクチン優先接種をお願いしたい。
- 医薬品卸の配送担当者をワクチンの優先接種対象者に加えていただきたい。
- 国が接種の前倒しを認めている一方で、神戸市が接種の前倒しを国に求める事例のように情報の一元管理ができていない。国は都道府県や市町村と、もっと連携すべきであり、もっと、現場を知るべきである。

◆ ワクチンの供給について

- 医療機関ごとのワクチンの必要量調査、供給量が必要量を満たさない場合の医療機関への配分量の決定、ワクチン価格等の購入条件の医療機関に対する説明等については、都道府県が行うこととされていたが、人口が多い都道府県で、十分実施されず、医薬品卸が代行した事例があり、官民がそれぞれの役割を果たすことが必要である。
- 医療機関にワクチンが足りないことが問題である。
- 供給スケジュールと接種プログラムの連動が必要である。

(医療機関における余剰ワクチンの返品)

- 今後のワクチン接種事業を進めるためにも医療機関の協力が不可欠であり、受託医療機関の余剰ワクチンについて、国が買い戻してほしい。
- 医療機関の在庫となっているワクチンの返品を認めないことは、医療機関のモチベーションが下がる。
- ワクチンの返品問題については、適切な流通調整を前提として、今後、十分な検討が必要である。
- 国は全国民分のワクチンを購入したことについては、危機管理上、当然のことである。ワクチンは国が全て買い上げた。結果的に、使用された場合は患者が、医療機関在庫は医療機関が、卸にある場合は卸が、それぞれ負担している。流通されなかった約1,500万回分のワクチンは国が負担している。ワクチンの所在によって費用負担の主体が変わるのはバランスが悪いのではないか。

◆ 接種の実施体制について

- 基礎疾患の定義を簡潔にすべきではないか。
- 優先接種対象自体は否定しないが、自分の長男が優先接種対象なのか判断できなかった。
- ワクチン液があって済むわけではなく、医師がいて初めて接種が行えるもの。医師を確保できるのか等の接種体制を確立すべきである。